

ローマンシェード (カーテンレール取付け金具付)

S-06032901

取扱説明書

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

注意 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

⊘ 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。

① 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

取付け上のご注意(取付け前に必ずお読みください)

警告

- ⊘ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ① 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地を取付けていない場合は落下の原因になります。
- ① 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。

注意

- ⊘ 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- ⊘ 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。
- ① 製品は、水平に取付けてください。



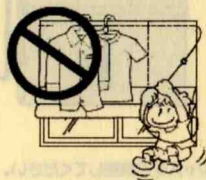
■ 使用上のご注意(ご使用前に必ずお読みください)

警告

- ⊘ コードが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。



- ⊘ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- ⊘ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。

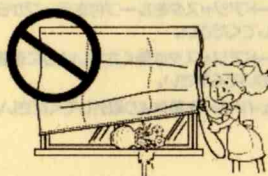


注意

- ⊘ 強風の時は、必ず窓を閉めるか幕体をたたみ上げた状態にしてください。
- ⊘ メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ⊘ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。

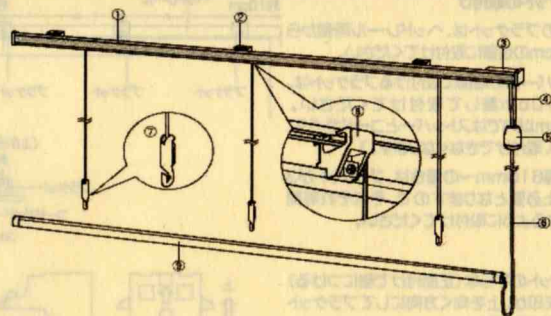


- ⊘ 必ず操作コードを持って操作を行ってください。幕体やボトムレールを持って操作を行わないでください。



- ⊘ 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。

製品構造図及び部品名称



■ 部品入数

製品名 (mm)	ブラケット	取付けネジ (ナベφ3.5×20)	カーテンレール 取付け金具	カーテンレール 取付け金具用小ネジ
300~600	2個	2本	2個	2本
610~1200	3個	3本	3個	3本
1210~1800	4個	4本	4個	4本
1810~2400	5個	5本	5個	5本

- 部品名
- ①ヘッドレール
 - ②ブラケット
 - ③ストップバー
 - ④昇降コード
 - ⑤コード止め
 - ⑥操作コード
 - ⑦コードアシスタ
 - ⑧コードガイド
 - ⑨ウェイトバー

■ 製品重量

プレーンスタイル 約1.7kg(幅2000mm×高さ2000mm)
※製品重量は、幕体重量・スタイルによって異なります。

製品の仕様について

本製品は以下の仕様でつくられております。
●幕体重量 3kg以内(布地、縫製部品、ウェイトバー含む)
●製品サイズ 幅300~2400mm、高さ480~3000mm

製品の取付け/取外し方法

注意

- ⊘ 付属部品のネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

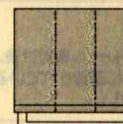
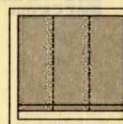
※製品本体を逆さにして持たないでください。昇降コードがコードガイドより抜け落ち、正常に操作できなくなる可能性があります。(昇降コードが抜けた場合、所定のコードガイドに通し直せば正常に操作することができます。)

■ 取付けの種類

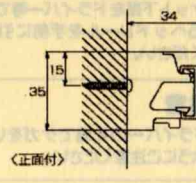
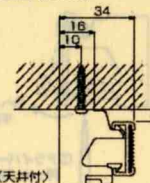
〈天井付け〉

窓の内側に取付ける方法

〈正面付け〉 窓の外側に取付ける方法



■ 取付け寸法図 (mm)



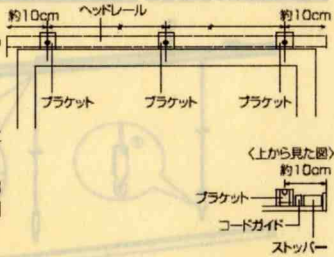
■ブラケットの取付け

●両側のブラケットは、ヘッドレール両側から約10cmの位置に取付けてください。

※ ストッパー側の端部に取付けるブラケットは、必ず10cm離して取付けてください。(10cm以内ではストッパーとコードガイドに当たり、取付けできなくなります。)

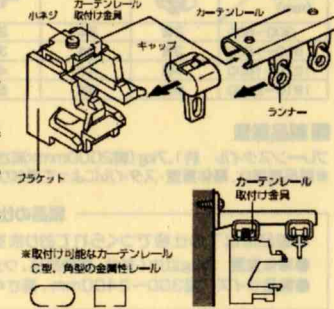
※ 製品幅610mm~の場合は、ブラケットが3個以上必要となりますので、それぞれ等間隔になるように取付けてください。

※ ブラケットの平らな(正面付け)壁につける面の矢印が、上を向く方向にしてブラケットを取付けてください。



■カーテンレールへ取付ける場合

- ①カーテンレールがしっかり取付けられていることを確認してください。
- ②カーテンレールのキャップを外し、ランナーを全て抜き取ってください。
- ③ブラケットにカーテンレール取付け金具を付け、カーテンレールに入れてください。その際、ネジは強く締めず、少しゆるめにしてください。
- ④取付け位置までブラケットをずらし、ネジを締めて固定してください。
- ⑤カーテンレールにキャップを取付けてください。



■ヘッドレールの取付け方法

- ①コードガイドより昇降コードが外れていないか確認してください。
- ②ヘッドレールをブラケット上部のツメに引っ掛けてください。
- ③ヘッドレールをカチッと音がするまで奥側に押し込んでください。

※取付けの際は、ブラケットで昇降コードを挟み込まないように注意してください。

▲注意

- ①ヘッドレール取付け後、確実にブラケットに固定されているか確認してください。

■ヘッドレールの取外し方法

- ①ブラケット下部をドライバー等で押し上げながらヘッドレールを手前に引いて取外してください。

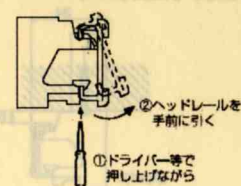
▲注意

- ①ドライバーの先端でケガをしないようにご注意ください。

〈取付け方〉



〈取外し方〉



■操作方法

▲注意

- ①幕体の昇降操作は必ず操作コードで行ってください。
- ②幕体を降ろすときは必ず操作コードに手を添えて操作してください。途中で手を離すと幕体が勢いよく降りることがあり危険です。

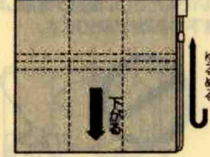
■幕体の上げ方

操作コードを引き、止めたい位置でゆるめると止まります。



■幕体の降ろし方

操作コードを5cmほど引き、次にゆるめると下がります。



●ストッパーのストップと解除は交互に作動します。

※幕体の左右高さが合っていない場合、コードアジャスタで調整してください。(調整方法は、P.6「幕体の取付け方法」を参照してください。)

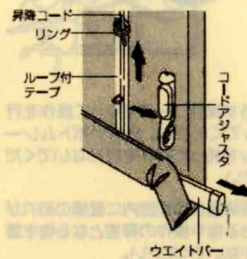
■お手入れ方法

幕体のお手入れについて

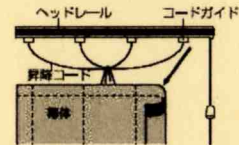
- 幕体表面の取扱ひ方法を記載したラベルを確認してください。
- 洗濯表示ラベルが付いている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。
- お手入れ方法ラベルが付いている場合は、ラベルの記載内容にしたがってください。

■幕体の取外し方法

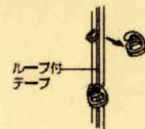
- ①幕体を降ろしてください。
- ②コードアジャスタから昇降コードをほどいてコードアジャスタをループ付きテープから取外してください。
※コードアジャスタは無くさないように保管しておいてください。
- ③ウェイトバーを幕体より取外してください。



- ④ヘッドレールから幕体を取外してください。
- ⑤コード類はコードガイドから抜けないように必ず糸ねて結んでおいてください。

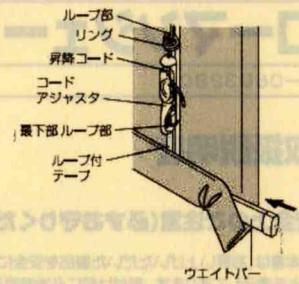


- ⑥ループ付テープからリングを取外してください。
※リングは無くさないように保管しておいてください。



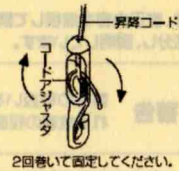
■幕体の取付け方法

- ①リングをループ付きテープのループ部に取付けてください。
- ②最下部のループ部へは、コードアジャスタを取付けてください。
- ③ウェイトバーを幕体に差し込んでください。
- ④昇降コードをリングに通し、コードアジャスタに巻き付けてください。



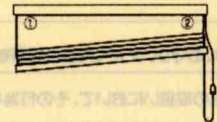
▲注意

- ①コードアジャスタに昇降コードを巻き付ける際は、必ず2回巻きで固定してください。1回巻きで固定すると、昇降コードがほどけて幕体が落下する恐れがあり危険です。



※幕体取付け後、幕体を上げてみて、左右の高さが合っているかどうか確認してください。

※合っていない場合は幕体を降ろした状態で、各昇降コードの張り具合が、同じになるよう次の手順で調整を行ってください。



- ①下がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを、短めに巻き直してください。
- ②上がっている側のコードアジャスタに巻いている昇降コードを、長めに巻き直してください。

■梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと、不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。